

令和元年度 地域活動事例集

旭区

きらっとあさひ

地域支援補助金



あなたの地域活動
応援

します!



はじめに

旭区内では、自治会町内会、福祉活動団体及び市民活動団体など、地域の皆さんが、子育て支援、高齢者の居場所づくり、移動支援、防災啓発など、多岐にわたる課題の解決に向け、さまざまな地域活動に取り組んでいます。

旭区では、継続的な地域活動を支援するため、「旭区きらっとあさひ地域支援補助金」の交付などを行っています。本冊子を通じて、令和元年度の補助金交付団体の地域活動の現在の取組が、区民の皆さんに広く知られるとともに、新たに地域活動を始める際の参考事例として活用いただければと考えています。

また、今年度は「SDGs」の視点を取り入れた活動を実施する団体に、新しい支援枠を追加しており、本冊子で紹介していますので参考にいただければと思います。

地域活動に関するご相談は、いつでもお気軽にお寄せください。住みよいまちをつくるため、区民の皆様と一緒に取り組んでまいります。

令和2年3月 旭区役所

目次

SDGs取組枠について	3
SDGs取組枠の2団体の紹介	4-5
平成30年度活動発表会 発表団体紹介	
① 旭区まちづくりポット	6-7
② わかば子育てサポートグループ	8-9
③ 白根東部町内会	10-11
活動の紹介	12-15



SDGs 取組枠について

旭区では、SDGsの目標を事業目標に掲げて活動し、SDGsの広報啓発を効果的に発信できる地域活動団体を支援しています。

「旭区きらっとあさひ地域支援補助金」に申請している団体が対象で、SDGsの17の目標のうち複数を事業目標に掲げ、横浜市の「SDGs未来都市」の実現に向けた政策推進に寄与できる事業であることが条件です。

SDGs (エス・ディー・ジーズ) とは

2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な世界を実現するための2030年までの開発目標です。17の目標から構成され、誰一人として取り残さないことを目標としています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



横浜市は、2018年6月、SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する「SDGs未来都市」29都市の一つとして内閣府から選定されました。現在、「環境」「経済」「社会」的課題を統合的に解決するモデルの創出に向け、ヨコハマSDGsデザインセンターを設置し、市民・企業・団体・大学等の皆様とともに様々な取組を進めています。



安心・安全に生活できる地域生活環境の実現

「地域サポート希望が丘東」

活動エリア

➡ 希望が丘東地区

地域サポート希望が丘東は、希望が丘東地区連合自治会、同社会福祉協議会、同民生委員児童委員協議会および今宿地域ケアプラザの4団体が連携して、自然にめぐまれた住みなれたまちで永続的に安心して便利に生活できる地域共生社会の実現を目指して活動しています。

買い物を便利に!

移動スーパー誘致

- 毎週火・金曜日 ● 4か所 ● 毎回50名以上の来客実績数

スーパー店頭と同一価格で、地元で採れた野菜(=地産地消)等を販売、レジ袋を削減(=プラスチックごみ削減)、食品ロスへらすため、ばら売りやカット希望に対応しています。黄色のビブスが目印のボランティアが、引きこもりがちの人を買い物に誘い、重い物やかさばるものは家まで届けています。話し相手を務め、その場で困りごとの相談も受け付けています。



食品ロスを減らそう!

もったいないバザール開催

- 毎月第1金曜日 ● 4か所

各家庭に消費しきれない食品はありませんか? 冷蔵庫の中や食品保管庫の中を再確認してみてください。未開封品であれば、賞味期限の切れる前に移動スーパーの開催時にお持ちください。また、ほしいものがあればお持ち帰りください。料金は無料ですが、捨てないで、使い切るようお願いいたします。皆さんで協力して、食品ロスを減らしましょう。



居場所を作ろう!

「ごとうさんち食堂」開設協力

- 毎月第3土曜日11時~ ● 大人300円/子ども100円

おひとりでも大歓迎、遊びに来ませんか? 約50名の来客実績数
※現在は都合により休止中ですが、地域で地域食堂を望む声があり、別の場所での開催を検討中です。



移動手段を作ろう!

ミニバス実現にも協力

SDGs講演会(2/15)開催、講習会・ミニサロン・空き家の活用を検討中です

誰もが孤立することのないよう、様々な居場所において顔を合わせ、住民の困りごとや要望を調査して、住民ボランティアも自らのいきがいや楽しみを見つけ、解決案を一緒に考えます。

活動を広めよう!

電子掲示板開設

チラシを作成し、配布・回覧・掲示しています。



SDGsの取り組み

地域サポート希望が丘東では…

貢献しているSDGs目標 3保健 11都市 12生産と消費 17パートナーシップ

令和元年度はSDGs取組枠として2団体に交付されました

多世代交流し、地域を活性化する取り組み スマイルモア

住宅街のコミュニティカフェ「ブルーベル」

活動エリア

➡ 希望が丘地区

希望が丘の住宅街にある実家を夫婦で改装し、小さなパン屋カフェ、ブルーベルをオープンさせたのは令和元年6月。地域コミュニティの場として、たくさんの人に来ていただいています。



ブルーベルのコンセプトは3つ



- 地域の人たちが気軽に立ち寄れる場所作り
 - ▶▶▶ 住民の孤立を予防する
- 福祉事業所から仕入れたパンを販売
 - ▶▶▶ 障害者の働く意欲につながるお手伝い
- 音楽、映像、芸術活動を発信
 - ▶▶▶ 人生の楽しみ、喜びを提案

足が不自由なので、近所に美味しいパン屋さんが出来て助かります。

70代女性

妻が最近亡くなり、会話する相手がなくなった。ここへ来て茶飲み話をするとう癒される。

70代男性

子育てに疲れている時、ここでゆっくりとコーヒーを飲むと元気になる。

20代女性

息子の福祉事業所の仕事が増えて喜んでいます。ブルーベルさんが毎日仕入れてくださっているからだと思います。

50代女性

映画を語る会に出席しました。皆さんのおすすめ映画を聞いて勉強になりました。



50代女性

好意的な声をいくつもいただき、徐々に地域に根ざした場所として定着してきました。



SDGsの取り組み

ブルーベルでは…SDGsの広報

- ・フェアトレード商品を使用したり販売したりしています。
- ・SDGsについての分かりやすい映像を店内で上映しています。



貢献しているSDGs目標 **3**保健 **4**教育 **10**不平等 **11**都市 **12**生産と消費

旭区まちづくりポット

あさひブックプロジェクト

活動エリア

➔ 旭区全域

『旭区まちづくりポット』は、旭区の読書活動を市民主体で行っています。本の愛好者同士の交流はもちろんのこと、「トークイベント」「ビブリオバトル」「ウィキペディア・タウン」「いちにち図書館」「古本市」「旭どこでも本棚」等、たくさんの方に本へ興味を持ってもらうための読書活動を展開しています。H30年度は、「旭区読書活動推進目標」の策定にも協力しました。

トークイベント

H27年度から実施。本や読書に関連した活動をしているゲストをお呼びして、情報提供や情報交換を行っている。小中高校の学校司書、市民図書室、研究者、書店、出版社などゲストは多彩。



ビブリオバトル

H27年度から実施。「人を通して本を知り、本を通して人を知る」本の紹介ゲーム。旭区内のカフェや旭図書館などで実施。小学生から高齢者まで世代を問わず幅広い方が参加している。



ウィキペディア・タウン

H29年度に実施。地域にある文化財などの情報を、図書館の蔵書を調べるなどして、インターネット上の百科事典「ウィキペディア」に書き込むイベント。「白根神社」をテーマに実施。



いちにち図書館

H28年度から実施。本好きの人に声をかけあい、おすすめの本を1人3冊、自作のポップ付きで紹介・展示し、参加者・来場者と交流するイベント。毎回約100冊が並ぶ。



古本市

H29年度の「みなまき一箱古本市」から実施。業者ではなく市民が自分の本を持ち寄り販売・交流するイベント。これをきっかけに、希望が丘、左近山、白根などでも展開。



旭どこでも本棚

H28年度から実施。旭区内のお店・団体・個人などが持つ本(本棚)をウェブ上に公開することで新たな交流を生み出す仕組み。19書棚が開設され、5000冊以上が登録されている。



協働ワークショップ

H30年度に実施。旭区の「読書活動推進目標」の策定のためにアイデア抽出、目標検討のためのワークショップを行った。成果は「旭区読書活動推進目標」として発表されている。



旭区まちづくりレポート

旭区まちづくりポットは、横浜市旭区のまちづくりを考え、
行動していく団体です。

現在は、読書活動を通じたまちづくりに力を入れて活動しています。

読書活動

トークイベント

区内外の「本×まちづくり」というテーマでのゲストを多数迎えたトークイベント



ビブリオバトル

大人から子どもまで参加できる、本の紹介コミュニケーションゲーム



読書会

団体各メンバーによる読書会。区内各地で実施。



ウィキペディア・タウン

図書館の蔵書などを使い、地元の情報をウィキペディアに更新するイベント

いちにち図書館

それぞれ参加者がおすすめ本を3冊持ち寄って展示し、紹介し合うイベント



協働ワークショップ

旭区の読書活動推進目標を行政と協働でつくるワークショップ実施



旭どこでも本棚

区内の参加者によって書棚をウェブに公開、共有し、貸出可能にしたシステム



古本市

区内で実施する一箱古本市を始めた大小さまざまな古本市



わかば子育てサポートグループ

地域包括子育てサポート

「地域で親と子を支え見守るためには具体的なサポートが必要」との考えのもと、地域への呼びかけで集まったサポーターを中心に、若葉台子育て母の会、若葉台地域ケアプラザ、若葉台地区センター、若葉台地区主任児童委員等の協力により平成29年に発足しました。

活動エリア

→ 若葉台地区



わかば子育てサポートグループ

「わかサポ」は…



1. 子育て経験豊かなサポーターが、地域の子育てを応援します。
2. 地域の子どもが健全に育つことを願い、近くに頼れる人がいなくても地域のみんなで支え合う子育てを目指します。
3. パパ、ママ、子ども、そしておじいちゃん、おばあちゃん、みんなの明るい笑顔を引き出す事を大切にします。

「わかサポ」は
こんなサポートをしています!

その1

個別サポート

個人の事情に合わせて

ご自宅などでお子さんを見守ります!

- 地区センタープレイルーム等での預かり
- 夕方の母親のサポート(依頼者宅で忙しい時間の子供の保育)
- 祖父母のサポート(依頼者宅で祖父母と一緒に孫の保育)
- 保育園の送迎

他にも、兄弟児の健診、通院、仕事、学校行事、買い物などのときに…!

時間帯	1時間の料金
7:00～ 9:00	600円
9:00～17:00	500円
17:00～20:00	800円



地域の団体と力を合わせて 地域の子育てをサポートします！

●各機関での事業、イベント等のサポート

(まちづくりセンター、神奈川県住宅供給公社、若葉台地域ケアプラザ、若葉台地区センター、若葉台子育て母の会、子育て自主グループ等)

例)フリーマーケット、地域内の会議や研修、ベビーマッサージ、親向けサロン、ヨガ、ピラティスなどの講座の際の保育



月1回定例会開催！

(第1金曜・第1月曜の交互開催)

事務連絡や情報共有を行うだけではなく、子どもの預かり時に注意する点を学んだり、サポーターが新しい刺激を得られていきいきと活動できるように、専門の方をお招きするなどして研修を行うこともあります。

[今までの研修例]

「地域での子育てサポートの必要性」

「地域での保健活動推進員の役割」

「保育におけるコーチング研修」

「保育における衛生面の対応と注意」…など



[利用者の声]

子どもの入院・
病気の時に利用しました。
兄弟もいるので
助かりました。



Sさん

保育園への迎えのサポートを
お願いしています。毎日の事
なので行政の子育てサポート
システムと組んで進めて
もらっています。



Mさん

孫を預かっていますが、
経験がなく体力の自信も
ないので、後方支援として
利用し、精神的にゆとりが
できました。



Uさん

[代表からのコメント]

若葉台地域ではお母さん達の声をもとに「こどもみらいづくり宣言」ができ、お母さん達の意識が高まっているということが、活動をするサポーターにとってもやりがいとなっています。ただニーズに応えるだけでなく、お母さんとサポーターの関係が深まり相互に成長していけるように、またいろいろな層の方がサポーターとして活動ができて、サポーター同士もお互いに良い影響をし合えるような活動をしていきたいと考えています。

代表 三村 治子

白根東部町内会

はくとう 次世代の架け橋

活動エリア
➔ 白根地区

高齢者の「生きがい」と「喜び」を感じる新たな事業として、平成30年度から、構成員8人が母体となりスタートしました。災害発生時における要援護者支援体制の確立をはじめ、高齢者健康促進事業及び公園環境整備事業等を通じて、治安の良い地域共生社会の実現を目指し、老若男女の垣根を越えた次世代に継承できる活動を展開しています。

〔町内会スローガン〕 熱き感動 伝えよう 次世代の子どもたちに



町内会シンボル(大団扇)

① 災害時要援護者の実態把握 & 一時避難場所参集訓練

要援護者の実態調査(1年目～推進事業)

大災害時に地域一体となって援護が必要な人を支援するため、高齢者を対象にアンケート調査を実施しました。この結果、既に把握していた要援護対象者の他、20数名の方が援護を求めている実態が集計されました。(町内会版調査:回答率74%)



一時避難場所参集訓練(2年目～重点推進事業)

白根東公園で、臨時避難場所設営、電源確保訓練(発電機)、太陽光発電(ソーラーパネル)から携帯充電体験、簡易トイレ設営、災害携行必需品の確認、救命救助(簡易担架制作)のほか、青少年ボランティア育成をめざし、次世代の親子参加による「炊き出し」訓練を実施しました。また、当日は、全世帯宅で安否確認方法として黄色ハンカチを掲示したほか(掲示率:85.4%)、支援隊組織を編成し、要援護対象者の車椅子による避難訓練を実践的に実施しました。(11/24実施、訓練参加者:82人)



② 高齢者健康促進事業

グラウンドゴルフ(1年目～推進事業)

環境整備された白根東公園を活動の場としてクラブ会員28人が参加し、毎週水曜日に開催しています。月末には月例コンペで大きな盛り上がりを見せています。(1回の参加で、3200歩程度歩きます)



③ 白根東公園環境整備事業&花いっぱい活動の推進

公園環境整備事業(1年目～推進事業)

「地域の安全は団塊世代の行動で」の合言葉で白根東公園の雑木林(竹)伐採(年2回)、雑草除去・清掃作業(毎月)等の環境美化事業を行っています。雑木林から伐採された孟宗竹は、「花いっぱい」活動でも有効活用しています。



「花いっぱい活動」事業(2年目～重点推進事業)

公園環境整備と平行して伐採竹を裁断し花壇枠を新設しました。公園のメインストリートにはプランターを配列し、花苗(区役所から配布されたものや、補助金や町内会独自で購入したもの)を植え付けています。最近では、横浜市白根保育園の園児も活動に参加し、多世代交流の場にもなっています。



④ 親子の触れ合い事業

家庭菜園収穫体験(1年目～推進事業)

地域活動の大きな骨格を形成するため、次世代との交流を深める活動を行っています。事業は、構成員と次世代の方々が協働した種子植え付け作業から始まり、次世代を担う親子の触れ合いの場を広め、地域の活性化を図っています。収穫体験として、年2回、ジャガイモ掘り会・サツマイモ掘り会を開催し、季節に合わせた果物狩り(ビワ狩り・ブルーベリー狩り)等の楽しく参加できる企画も展開しています。



令和元年9月収穫祭(サツマイモ)

⑤ 世代を超えた触れ合いの場所づくり&世代間の交流

子ども文庫開設(1年目～推進事業)



世代間交流と
共に歩く 未来に向かって
第一歩 前進!!



白根東部町内会は、3年後、5年後を見据えた地域活動を目指して「次世代の架け橋」事業を推進しています。

※本ページの紹介は、旭区きらっとあさひ地域支援補助金の交付を受けていない事業も含まれます。

活動の紹介

旭区には19の地区が存在していますが、抱える課題は地域によって異なります。地域活動を行う団体は、他の団体と連携したり、区域全体で独自の取組を行うなど、それぞれ異なった多様な方法で地域課題の解決に向け、アプローチしています。

ここでは、旭区で現在実施されている活動の様子をご紹介します。

※ここまでのページで紹介した団体を除く。
※掲載は50音順です

〔読み方〕

- ①活動エリア
- ②団体名
- ③事業名

旭北地区 ①
旭北連合自治会 ②

中堀川いこいの場づくり ③

「中堀川プロムナード」を花と緑のいこいの場にするため、清掃活動や花植えを行っています。小学生の絵を飾る

旭北地区 旭北地区連合自治会

中堀川いこいの場づくり

「中堀川プロムナード」を花と緑のいこいの場にするため、清掃活動や花植えを行っています。プロムナードに地域の小学生の絵を飾ることで、地域の人々の関心を集める場所となっています。ホタルの復活のため、「ホタルの飼育講習会」を開催し、春の放流を目指して幼虫飼育も始まりました。



ホタルの飼育について学びました

希望が丘東地区 きぼうの手

生活支援ボランティア

令和元年7月にスタートした「きぼうの手」。支え合い暮らせるまちを目指し、地域のボランティアが日常生活で困りごとを抱える高齢者や障害者を有償でサポートしています。

お手伝い内容は、庭仕事や買い物・掃除のほか、ごみ出しや家具の組み立てなど多岐にわたっています。



庭木剪定の講習会を実施しました

今宿地区 県営今宿団地自治会

県営今宿団地健康団地づくり事業

団地に住む高齢者がいきいきと暮らし続けられるよう、団地の空き室を改装して作った「まごころの家」を拠点に、様々な交流活動を行い、住民相互のコミュニケーションの活性化を図っています。趣味やおしゃべりをとおした交流のほか、健康セミナーや何でも相談会等を開催し、「健康団地」を推進しています。



趣味の手作り教室を行っています

白根地区 しらね相友さくら会

白根相友自治会支え合いネットワーク

ふれあいサロンや、キッズ縁日などの親子で楽しめる行事等を通して自治会内の交流を深め、互いの顔が見える関係作りに取り組んでいます。また、災害時の援護についてアンケートを実施し、援護希望者へのフラワーポット配布や、黄色いハンカチで安否確認訓練を行うなど、近隣相互の共助活動を行っています。



キッズ縁日にたくさんの家族が訪れました

鶴ヶ峰地区 災害時支援プロジェクト

災害時支援プロジェクト

町内の高齢者施設、障害者施設等と連携を深めて発災時のいざという時に事故のない体制づくりを進めています。今年度は、夏の町内イベントの開催時に、防災訓練を兼ねて各施設の利用者を招待するなど、地域住民との交流も図りました。今後も定期的に続けていく予定です。



施設利用者が町内会の夏祭りで住民と交流しました

左近山地区 NPO法人オールさこんやま

小学生への学習支援

地域の交流スペース「ほっとさこんやま」を会場として、小学生を対象とした「さくら教室」を開いています。一般的な学習塾と違い自ら進んで勉強できるよう地域のボランティアが子どもたちのお手伝いをしたり、勉強の仕方について楽しく教えています。地域の大人とも顔見知りになり、世代間の交流の場にもなっています。



自習する子どものお手伝いをしています

二俣川地区 二俣川地区連合自治会

二俣川地区防災・減災啓発推進事業

横浜市や旭区の防災計画の見直しに加え福祉避難所など防災への環境整備が一部変化したため、平成27年に作成した「防災マニュアルマップ」を補完し、地域住民へ配布しました。さらに今年度は、認知症の基礎知識について講習会を行い、避難所等での認知症への対応の一助となりました。



認知症について真剣に学ぶ地域の皆さん

旭中央・旭南部地区 本宿小学校地域防災拠点運営委員会

本宿小学校地域防災・減災推進事業

6自治会町内会の防災意識の向上のため、毎年度防災マニュアルを作成し、地域住民約4千世帯に配布するとともに、地域防災拠点での訓練等で活用してきました。補助金交付は今年度で終了となりますが、次年度以降は防災拠点通信を発行するなど、形を変えながら防災・減災の取組を継続していく予定です。



防災訓練で手作りランタンを試す子どもたち

笹野台地区 ほのぼの食堂 はぐ

ほのぼの食堂(こども食堂・かがやき食堂)

「美味しいものを食べると笑顔になる」をモットーに、孤食の子どもや、ひきこもりがちな高齢者、子育て中の方にも季節感を大事にした美味しい料理を、おなか一杯食べてもらいます。「こども食堂」と、高齢者向けの「かがやき食堂」を開催して住民同士の交流を深め、地域のみなさんの笑顔が増えるよう活動しています。



季節を感じられるバラエティ豊かなメニューを提供

若葉台地区 若葉北自治会

高齢者みまもり「サロン若北」

「4つのあい(知り合い・認めあい・たすけあい・守りあい)」をスローガンに活動を行っています。ポッチャ、ダーツで身体を動かして盛り上がった後に昼食会で更に交流を深めます。歌声サロンに音楽療法士を招いて、お楽しみだけではなく健康増進にもつなげ、映画会や体操等も実施して健康寿命が延びるように取り組んでいます。



昼食前に皆で楽しく運動します

若葉台地区 若葉台第一自治会

高齢者の居場所作りと高齢者の見守り事業

珈琲の香りの中で懐かしい名曲を楽しむ「みずき名曲サロン」を定期的で開催するとともに、昼食会を開催しています。引きこもりがちな高齢者に気軽に外出してもらい、皆様が楽しんで交流できる居場所作りに取り組んでいます。また、救急用医療情報キット(マイカプセル)を配布して、いざという時にも備えています。



年3回の昼食会を楽しみにしています

若葉台地区 若葉台もみじ自治会自主防災会

防災意識の向上並びに 発災時の安否確認体制の確立

自治会・管理組合と連携して防災体制の整備を進めています。今年度も新たに購入したLED照明器具・救護担架を使った防災訓練を実施しました。今後も防災訓練等を通じて住民の防災意識の向上と発災時に支え合う関係づくりを目指して活動を推進します。



LED投光器を実際に使ってみました

若葉台地区 若葉台二丁目南地区自主防災本部

若葉台二丁目南地区自主防災活動

若葉台二丁目南地区自主防災本部は、地区独自の防災避難訓練を実施するなど、住民の防災や自助・共助に対する意識の向上に取り組んでいます。今年度は、防災マニュアルの作成や防災ニュースの発行のほか、住民の「災害時緊急対応情報」の収集を進め、収集した情報を災害時の緊急対応に役立てられるよう整備を行いました。



防災訓練で防災備品展示と非常食の試食会を行いました

若葉台地区 若葉台もみじふれあいおたすけ隊

10年先を見据えた住民同士の助け合い事業

高齢者や身体の不自由な方、子育て世代等で、日常生活の支援が必要な方々のちょっとした困りごとを支援し、地域のご近所同士が支えあい、助けあえるまちづくりをめざします。支援が必要な人には会員になってもらい、状態を把握して災害時の安否確認にもつなげます。また、支援を利用しやすいように、料金設定に工夫をしています。



おそろいのスタッフエプロンを作りました

補助金の申請・交付・報告

年間スケジュール

※時期は目安であり、若干前後する場合があります。

4月

相談・申請

活動内容を
記録しましょう

5月

審査

書類及びプレゼンテーション
等による審査

6月

7月

交付・不交付決定通知の確認
交付決定団体説明会

交付決定後

8月

請求書の提出

9月

口座への入金確認

振込通知はありません。
各自ご確認ください。
※区役所が請求書を確認してから
交付まで約1か月かかります。

10月

中間報告

11月

活動の様子を写真で
残しておきましょう

12月

1月

領収書はまとめて
保管しておきましょう

2月

3月

活動発表会
次年度申請説明会

4月

実績報告

問い合わせ先
〈 旭区役所 〉



旭区マスコットキャラクター
「あさひくん」

区政推進課 地域力推進担当(2階23番窓口)

TEL 045-954-6028 FAX 045-951-3401

福祉保健課 事業企画担当(3階31番窓口)

TEL 045-954-6143 FAX 045-953-7713

高齢・障害支援課 高齢者支援担当(別館3番窓口)

TEL 045-954-6125 FAX 045-955-2675